

「BPM」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号:

※ 赤字部分は、V2.10からV3.1の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

- APPLIC-0002-2016
- プラットフォーム通信標準仕様V3.1
- アーキテクチャ標準仕様V3.1

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

(c) 申請者

団体名: ★識別キー項目1
 団体のURL: (識別キー項目4つで
 APPLIC会員番号: ユニークになるように
 申請者が指定する)

(d) 製品情報

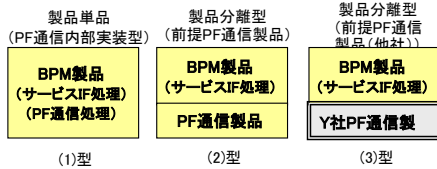
製品説明のURL: ★識別キー項目2
 代表製品名:
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等): ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日):

対応OS:

製品の形態(1)型から(3)型:



前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名: ※1

前提PF通信製品名: ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無:

参考となる情報(オプション):

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること
 ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)!

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内・外共通	
			製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	○
1-1	TCP/IPによる通信が可能であること(CS-R020001)	必須	◎	○
1-2	HTTPは、HTTP1.1を使用する(CS-R020002)	必須	◎	○
1-3	SOAPは、SOAP1.1を使用する(CS-R020003)	必須	◎	○
1-4	SOAP通信は、Basic Profile 1.0に準拠すること(CS-R020004)	必須	◎	○
1-5	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	○
1-6	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	○
1-7	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンに対応できること (CS-R060001~CS-R060005, CS-R060006,CS-R060007, CS-R060009)	必須	◎	○
2	プラットフォーム通信標準仕様第4章「プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」における機能要件を満たす。	必須	◎	○
2-1	BPM機能は、WS-BPELに準拠した以下の機能要件を満たすこと ・WS-BPEL V2.0に準拠していること (CS-R040001) ・サービス呼出し/IFに関するreceive, reply, invoke (CS-R040003) ・実行制御に関するsequence, flow, if, while (CS-R040004) (ただし、V1.0の場合は、linkがあるflowは対応できなくてもよい) ・throw (CS-R040005) ・変数処理に関するassign (CS-R040006) ・fault Handler (CS-R040007) ・コリレーションセット (CS-R040008) ・XMLの部分データを変数に割り当てるためのXPath 1.0 (CS-R040010)	必須	◎	○

備考欄(前提事項や制限事項)